



2027年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年7月14日

上場会社名 株式会社ライズ・コンサルティング・グループ 上場取引所 東
 コード番号 9168 URL <https://www.rise-cg.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松岡竜大
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0（氏名） 進藤基浩（TEL）03-6441-2915
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（ 機関投資家・アナリスト向け ）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	2,116	△4.1	240	△51.3	234	△52.0	205	△41.0	205	△41.0	205	△41.0
2026年2月期第1四半期	2,207	31.5	492	38.7	487	40.0	348	33.0	348	33.0	348	33.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2027年2月期第1四半期	8	53	8	39
2026年2月期第1四半期	14	30	13	90

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	％	％
2027年2月期第1四半期	9,073		6,778		6,778		74.7	
2026年2月期	9,495		7,192		7,192		75.7	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		0.00	—	21.00	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	10,000	18.7	946	△44.5	936	△44.6	663	△46.8	663	△46.8	27.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社NouScale 除外 1 社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年2月期1Q	24,980,340株	2026年2月期	24,878,540株
2027年2月期1Q	1,031,900株	2026年2月期	718,700株
2027年2月期1Q	24,068,232株	2026年2月期1Q	24,328,734株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、世界的な物価上昇や為替相場の変動、地政学リスクの高まりや国際情勢の不安定化により、我が国経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このように激しく変化する市場環境に対応すべく、国内企業においては、経営の柔軟性や競争力の強化を図る動きが加速しており、特に生成AI・DXを活用した業務効率化やビジネスモデルの変革に向けた取り組みが活発化しています。加えて、各企業は新たなビジネス機会の創出や更なる企業価値向上を目指した取り組みも行っており、企業活動へのコンサルティング支援に対する需要は今後さらに高まっていくものと考えられます。

当社グループは、2025年4月に中期経営計画を策定し、2026年2月期から2030年2月期において、売上年平均成長率20～25%、2030年2月期の営業利益率25～30%を達成することを目標としております。この目標達成に向けて、創業以来の強みである、戦略策定から実行支援まで一貫して顧客に深く入り込む伴走型の経営支援サービスを軸として、今後も様々な業界に対し、戦略策定、業務改革、IT導入、DX推進等のあらゆる側面からの支援を提供してまいります。

当連結会計年度においては、さらなる事業の拡大のため、重点施策として掲げている「人員構成の適正化」「既存事業の進化」「アライアンス等の営業力強化」の取り組みに注力してまいります。

なお、当第1四半期連結累計期間においては、人員構成の変化により、案件獲得及び全体の稼働に影響が生じたほか、重点施策の推進に伴い、主に採用費や営業活動に伴う人件費が増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,115,830千円(前年同期比4.1%減)、営業利益は239,737千円(前年同期比51.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は205,353千円(前年同期比41.0%減)となりました。

なお、当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて422,557千円減少し、9,072,507千円となりました。

流動資産は681,387千円減少し、3,137,031千円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の減少741,896千円、営業債権及びその他の債権の増加33,517千円であります。

非流動資産は258,829千円増加し、5,935,476千円となりました。主な要因は、使用权資産の増加231,121千円、有形固定資産の増加31,532千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8,135千円減少し、2,294,677千円となりました。

流動負債は63,901千円減少し、1,461,409千円となりました。主な要因は、未払法人所得税の減少193,234千円、リース負債の増加47,762千円、その他の流動負債の増加94,301千円であります。

非流動負債は55,766千円増加し、833,268千円となりました。主な要因は、借入金の減少133,000千円、リース負債の増加188,766千円であります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べて414,423千円減少し、6,777,830千円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益205,353千円の計上、剰余金の配当による減少507,357千円、自己株式の取得による自己株式の増加127,936千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて741,896千円減少し、1,979,070千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、54,661千円(前年同期は436,848千円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期利益233,934千円(前年同期は487,181千円)、法人所得税の支払額199,607千円(前年同期は264,058千円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、30,295千円(前年同期は2,185千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出27,469千円(前年同期の支出はありません)、敷金保証金の支出2,826千円(前年同期の支出はありません)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、766,262千円(前年同期は343,434千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出133,000千円(前年同期は133,000千円の支出)、自己株式の取得による支出128,416千円(前年同期の支出はありません)、配当金の支払額501,341千円(前年同期は199,439千円の支出)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月13日に公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,720,965	1,979,070
営業債権及びその他の債権	921,975	955,492
棚卸資産	15,975	4,594
未収法人所得税	7,606	-
その他の流動資産	151,897	197,876
流動資産合計	3,818,418	3,137,031
非流動資産		
有形固定資産	24,945	56,477
使用権資産	278,951	510,072
のれん	5,120,539	5,120,539
その他の金融資産	122,411	125,237
繰延税金資産	87,520	83,955
その他の非流動資産	42,281	39,195
非流動資産合計	5,676,647	5,935,476
資産合計	9,495,065	9,072,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	200,150	199,125
借入金	532,000	532,000
リース負債	48,545	96,307
未払法人所得税	235,253	42,020
引当金	11,705	-
その他の流動負債	497,656	591,957
流動負債合計	1,525,309	1,461,409
非流動負債		
借入金	531,790	398,790
リース負債	222,712	411,478
引当金	23,000	23,000
非流動負債合計	777,502	833,268
負債合計	2,302,811	2,294,677
資本		
資本金	185,385	193,346
資本剰余金	2,230,702	2,238,258
利益剰余金	5,244,936	4,942,933
自己株式	△468,770	△596,706
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,192,253	6,777,830
資本合計	7,192,253	6,777,830
負債及び資本合計	9,495,065	9,072,507

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上収益	2,207,382	2,115,830
売上原価	1,027,081	932,865
売上総利益	1,180,301	1,182,965
販売費及び一般管理費	689,807	936,644
その他の収益	1,526	2,677
その他の費用	-	9,262
営業利益	492,020	239,737
金融費用	4,839	5,803
税引前四半期利益	487,181	233,934
法人所得税費用	139,058	28,581
四半期利益	348,123	205,353
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	348,123	205,353
四半期利益	348,123	205,353
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.30	8.53
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.90	8.39

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期利益	348,123	205,353
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	348,123	205,353
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	348,123	205,353
四半期包括利益	348,123	205,353

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	合計	
期首残高	174,246	2,200,107	4,217,639	△277,312	6,314,680	6,314,680
四半期利益	-	-	348,123	-	348,123	348,123
四半期包括利益合計	-	-	348,123	-	348,123	348,123
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
配当金	-	-	△218,786	-	△218,786	△218,786
新株予約権の行使	1,516	1,516	-	-	3,032	3,032
所有者との取引額等合計	1,516	1,516	△218,786	-	△215,754	△215,754
四半期末残高	175,762	2,201,623	4,346,976	△277,312	6,447,049	6,447,049

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	合計	
期首残高	185,385	2,230,702	5,244,936	△468,770	7,192,253	7,192,253
四半期利益	-	-	205,353	-	205,353	205,353
四半期包括利益合計	-	-	205,353	-	205,353	205,353
自己株式の取得	-	△334	-	△127,936	△128,269	△128,269
配当金	-	-	△507,357	-	△507,357	△507,357
新株予約権の行使	7,961	7,889	-	-	15,850	15,850
所有者との取引額等合計	7,961	7,555	△507,357	△127,936	△619,776	△619,776
四半期末残高	193,346	2,238,258	4,942,933	△596,706	6,777,830	6,777,830

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	487,181	233,934
減価償却費及び償却費	14,280	26,074
金融費用	4,839	5,803
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	123,477	△33,517
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,618	11,381
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△20,384	△24,878
その他	83,002	40,706
小計	705,014	259,502
利息の支払額	△4,109	△5,234
法人所得税の支払額	△264,058	△199,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	436,848	54,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△27,469
長期前払費用の取得による支出	△2,185	-
敷金保証金の支出	-	△2,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,185	△30,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△133,000	△133,000
リース負債の返済による支出	△13,349	△19,704
新株予約権の行使による収入	2,354	16,199
自己株式の取得による支出	-	△128,416
配当金の支払額	△199,439	△501,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,434	△766,262
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91,229	△741,896
現金及び現金同等物の期首残高	2,459,288	2,720,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,550,516	1,979,070

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

基本的1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	348,123	205,353
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(千円)	348,123	205,353
発行済普通株式の期中平均株式数(株)	24,328,734	24,068,232
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.30	8.53

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

希薄化後1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(千円)	348,123	205,353
四半期利益調整額(千円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(千円)	348,123	205,353
発行済普通株式の期中平均株式数(株)	24,328,734	24,068,232
希薄化効果の影響：ストック・オプション(株)	698,371	407,584
希薄化効果の調整後(株)	25,027,105	24,475,816
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.90	8.39

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社の設立)

当社は2026年5月29日開催の取締役会決議に基づき、株式会社リコーとの共同出資により、リコーAIコンサルティング株式会社を設立いたしました。当社の出資比率は20.0%であり、同社は当社の持分法適用関連会社となる予定です。

1. 設立の目的

リコーグループが有する顧客基盤、顧客接点力、AIの基盤技術及びAIソリューション提供力と、当社の強みであるAI・デジタル領域における戦略立案から実装・活用までのコンサルティング力を融合し、企業に最

適なAI導入と定着を一貫して支援することを目的として設立いたしました。

2. 持分法適用関連会社の概要

- (1) 商号：リコーAIコンサルティング株式会社
- (2) 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 梅津 良昭
- (3) 事業内容：AI 活用の構想から実装・定着までを一貫して支援するコンサルティング事業
- (4) 資本金：100百万円
- (5) 設立日：2026年6月11日
- (6) 事業開始：2026年7月（予定）

3. 出資比率

当社：20.0%、リコー株式会社：80.0%

4. 今後の業績に与える影響

本件による当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であります。なお、今後の通期業績予想に重要な影響を与えることが判明した場合は、速やかに開示いたします。